

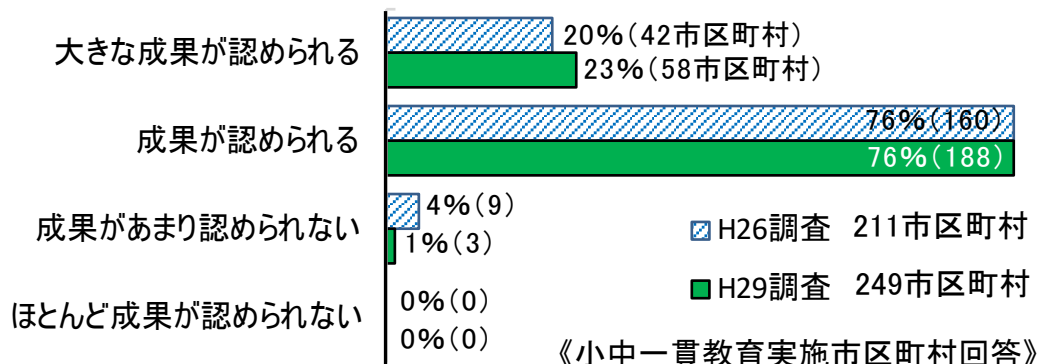


小中一貫教育の成果と課題は？その1

文部科学省は、これまで小中一貫教育に取り組んでいる全国の市区町村を対象に成果と課題等の調査を行いました。今回と次回で、その結果の概要を紹介します。（義務教育学校の制度ができる前から独自に小中一貫教育に取り組んでいる市区町村も含まれています。）※詳細は、文部科学省ホームページの「小中一貫教育の導入状況調査」でご覧になることができます。

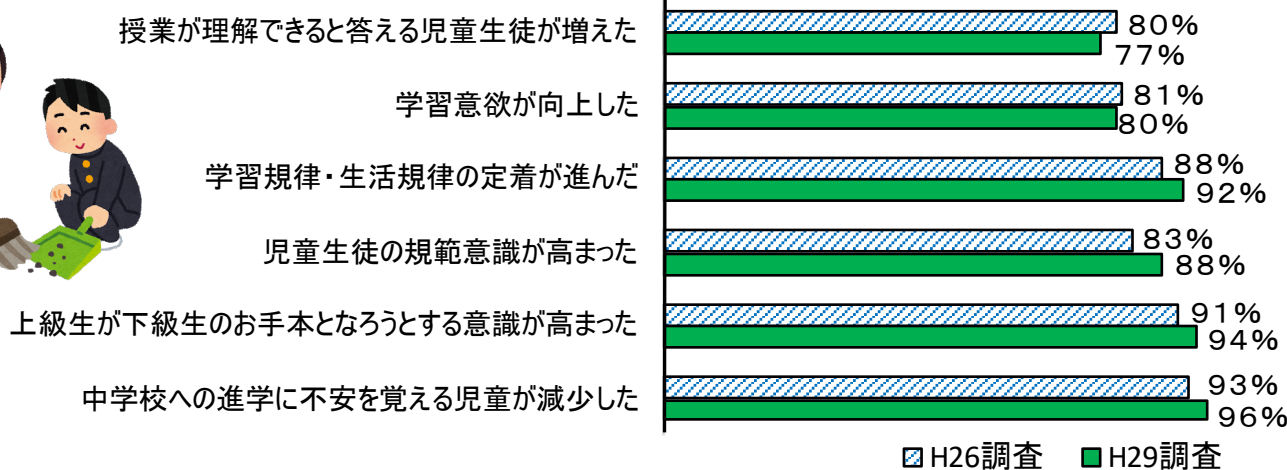
小中一貫教育取組の総合的な評価（成果）

【平成26年・平成29年 文部科学省調査】



学習指導・生徒指導での成果

「大きな成果が認められる」「成果が認められる」と回答した市区町村の割合



小中学校の教員が授業に関わることなどから、成果として、授業理解や学習意欲の向上につながったと答えている市区町村が約8割と多くありました。

また、小学生と中学生の授業や行事等学校生活での交流から、上級生が下級生のお手本となろうとする意識の高まりも成果としてあげられています。

中学生の様子を身近に知ることができることから、中学校への進学に不安を感じる児童が減少し、いわゆる「中1ギャップ」も緩和されたとの回答が90%以上という結果でした。

★ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。